

# 本郷だより

第 205 号

平成 28 年 11 月 30 日 発行

文京区立本郷小学校

<http://www.bunkyo-tky.ed.jp/hongou-ps/>

## 舞台に立つ

校長 細田 真司

11月18日と19日、子供たちの心に残る学芸会を実施することができました。保護者の皆様には、衣装の準備等の御協力を賜り、また、当日は1000名を超える保護者・地域の方々に御参観いただきました。厚く御礼申し上げます。



本校では、3年に1度行う学芸会ですので、1年生から3年生は初めての学芸会、4年生から6年生は小学校生活最後の学芸会となります。それだけに、どの学年の児童も真剣に取り組む姿が見られました。演技を教える教師も指導と演出に情熱を傾けた舞台でしたが、いかがだったでしょうか。

子供たちが、大勢の注目を浴びる舞台に立つということは、そこに至るまでの過程に計り知れない教育的な価値があると言えます。

多くの子供たちは、初めて台本を手にしたときに思い描いた配役になるとは限りません。自分の希望通りの役を得られる子供は限られています。それでも子供たちは「For The Team」の精神で学年の劇をつくり上げようと自分の気持ちを奮い立たせ、舞台に立ちます。また、練習を重ねる中で超えなければならない壁にぶつかります。工夫が浮かばない、仲間との息が合わない、

出したい声が出せないなど、それぞれが抱えた苦悩や葛藤を乗り越え、舞台に立ちます。

そして、当日。自分たちの作品を大切にする想いが大きければ大きい程、極度の緊張と戦いながら舞台に立ちました。本番の舞台上では、観客の方々の反応をうかがいながら、焦る気持ちなどをコントロールして演技をしたり、予期せぬ出来事が生じてもその場で考えながら対応したりして、自分の役割を全うしていく本郷小学校の子供たちの姿がありました。

練習と本番、子供たちの舞台に立つ姿を見て、16世紀の劇作家シェイクスピアの言葉を想起しました。「世界は舞台だ。誰もが何か役割を演じなければならない。」

人工知能の進化やグローバル化の進展など、20年後、30年後、40年後、現在と大きく変わっているかもしれない世界や社会を支え、平和な未来を創る役割を担うのは、今の子供たちです。そのために必要な資質・能力の一部を、確実に養うことができた今年の学芸会となりました。

今年最後の本郷だよりとなります。今年一年の御理解と御協力に心から感謝し、皆様方が穏やかな新年を迎えられますようお祈り申し上げます。

## 12月の行事予定

生活目標

教室をきれいにしよう

日	曜日	時程	朝会	昼	学校行事	放	日	曜日	時程	朝会	昼	学校行事	放
1	木		安	○			17	土					
2	金		○	○	医療機器体験活動4~6年 栄養教諭教育実習終		18	日					
3	土						19	月		全	○	クラブ活動⑩ 国立近代美術館工芸館見学4年	
4	日						20	火	特				
5	月		全	○	委員会活動⑧		21	水	水	縦		給食終	◎
6	火		集	○			22	木	特			午前授業 終業式 大掃除(2校時)	
7	水	水			午前授業		23	金				天皇誕生日	
8	木		集	○	避難訓練 マラソン・読書旬間終		24	土					
9	金		体	○	邦楽鑑賞教室(2校時)		25	日					
10	土						26	月				冬季休業日始	
11	日						27	火					
12	月		全	○	クラブ活動⑩(卒業アルバム写真撮影)		28	水					
13	火		○	○	地域支援スタッフによる読み聞かせ		29	木					
14	水	水			午前授業		30	金					
15	木		○	○			31	土					
16	金		音	○									

特…特別時程 水…水曜時程 全…全校朝会 集…児童集会 安…安全の日 体…体育朝会 音…音楽朝会 ○…学習タイム ◎…放課後遊び 縦…縦割り

2学期も残すところ3週間となりました。その後、冬休みがやってきます。クリスマス、お正月と子供たちにとって楽しい行事が続きます。冬休みを充実したものにするために、次の3つのことに御留意ください。

## ①安全

何かと気ぜわしくなる年末は、大人の目が届きにくくなりがちです。交通事故や、不審者等による事件・事故はもちろん、火遊び等の事故にも十分に気を付けてほしいときです。また、クリスマスやお正月など子供たちが大金を手にする機会があるのも冬休みの特徴です。思わぬトラブルに巻き込まれないよう、子供たちだけでゲームセンター、遊園地、繁華街に行かないなど、生活の約束について御家庭で十分に話し合ってください。お子さんの様子に変わったことがないか、気に掛けることも大切です。

また、地震などの自然災害に対する意識も高めておきたいものですね。

## ②規則正しい生活

年末年始のイベントが多い冬休み、夜更かしをする機会も多くなり、生活のリズムが乱れがちになります。できるかぎり早寝・早起き・朝ごはんなどの生活リズムを崩さず、元気な生活を送ってほしいと思います。

## ③家族の結び付きを大切に

冬休みは、年末の大掃除や新年を迎える準備など、家族で一つのことをやり遂げながら、多くのことを子供たちに教えることのできる絶好の機会です。家の仕事を手伝わせたり、親子で一緒に遊んだりするなど、意識的にふれあいの場をつくっていただけたらと思います。

なお、後日配布します「冬休みの生活」について、お子さんと内容をよく御確認ください。

## 本に親しむ取組～読書旬間・読書タイム・読み聞かせ～ 学校図書館部

11月28日(月)から、読書旬間が始まりました。この期間には、20分休みに10分間集中して読書に取り組みます。子供たちは、「本郷小の150冊」を中心に読み進めています。「本郷小の150冊」は、低学年70冊、中学年50冊、高学年30冊となっており、6年間で150冊が読破できるようになっています。先生たちがおすすめする150冊を読み進めていく中で、自分に合った本やお気に入りの本が見付けられるとよいです。

また、本郷小学校では、読書旬間以外にも、昼の10分間を読書タイムとして取り組んでいます。子供たちは、オープンスペースにあるブックトラックの本や図書室の本など、様々な本を読んでいます。低学年は、区立図書館の方による「お話し会」なども行いました。また、1～3年生は、月に2回程度、4年生以上も月に1回程度、保護者の方や地域支援スタッフのボランティアによる読み聞かせを行っています。低学年では、読み聞かせを行うことで本に興味をもったり、親しみを感じたりすることを大切にしています。高学年は、自分に合った本を見付け、じっくりと集中して読むことができるよう時間を確保しています。図書室にいる学校司書により、図書室の環境もより一層整い、レファレンス(必要な資料の検索や準備)や休み時間の貸し出しにも対応しています。この機会にぜひ図書室を利用し、「もう一度読みたい。」「もっと本を読みたい。」など、読書への意欲がさらに高まることを期待しています。

## 学芸会の児童の感想

3年生

○3年生の劇で一番大事なところは、歌だと思ったので、練習ではいつも精一杯歌っていました。そして、学芸会で、最後の歌のところで手拍子ももらったり、劇を終わってからいっぱい拍手ももらったりしたことがとってもうれしかったです。(小林 映莉佳)

○学芸会の練習の中で一番大変だったことは、大きな声でせりふを言うことです。一番後ろの席まで聞こえるようにしようと、家で練習をしました。また、最初は友達と息があってなくてばらばらだったけど、練習しているうちに友達とそろえてせりふを言えるようになりました。(中村 菜々)

○初めての学芸会は、失敗しちゃったところもありますが、いっぱい演じたり、歌ったり、おどったりしたので楽しかったです。(曾根 菜奈子)

○三年後にまた学芸会があると思うと、待ちきれなくなりました。6年生になったら、どんなげきをするんだろうと、とても考えがふくらんできています。(吉方 里緒子)

○トップバッターだったのでとても緊張しました。せりふを、ゆっくり遠くを見て、大きな声でお客さんに聞こえるように言いました。母も、とても上手だったねと褒めてくれたので嬉しかったです。(高橋 蒼空)

○リハーサルのときに、少しでも上手になるために「時間を無駄にしない。」ということ学びました。本番では、いろいろな人から拍手をもらえたので、頑張ってよかったです。(戸所 咲乃)

